

玉原高原《豊かなブナの森を次世代に残すために》

利根沼田自然を愛する会
副会長 二川 真士

玉原高原は、群馬県沼田市の北部、武尊山（ほたかやま）の山麓、標高 1,150～1,600m の国有林に立地し、玉原湿原は、ブナ林に囲まれた湿原です。以下、プレゼン構成の概要です。

1. 玉原高原の概要

森林の概要

気候＝日本海型気候

植生＝日本海型

“小尾瀬”と呼ばれる玉原湿原

2. 利根沼田自然を愛する会の紹介

昭和 30 年に発足し、玉原高原を中心に、自然を調べ・伝え・守るための様々な活動
月例観察会、ブナ幼木移植、夏休み子供観察教室、たんばら・森林の学校を開催
保全活動の歴史

1971 年：玉原ダム建設に伴う湿原水没問題

1984 年：スキー場建設問題

1997 年：玉原越え道路建設計画が持ち上がる

1998 年：湿原木道付け替え検討

玉原湿原と人との関り【ダムの建設】

3. 玉原高原で“今”起きている問題

外来種の増加

貴重な植物の盗掘、過度な採取

ニホンジカによる食害被害

地球温暖化による影響

4. 玉原の自然を次世代に残すための活動

知ってもらおう・ファンになってもらう

未来に残したい草原の郷 100 選に選定

たんばら・森林の学校

仲間づくり・体制づくり

楽迎員養成講座

国民参加の森づくり協定

知る・記録する

ニホンジカ食害調査

ドローン空撮画像による湿原シカ道の変化

保全活動

シカ防除ネットの設置